

【シカ捕獲研修会を開催】

当署では保全センターと連携しながらヤクシカを職員実行で捕獲しているところであり、平成30年度は31頭を捕獲するとともに、委託事業や協定捕獲等を合計すると197頭を捕獲しています。

このような中、4月19日に当署会議室において、4月異動の転入者及び免許更新の必要な職員3名に対して岩本清文次長を講師として、有害鳥獣捕獲従事者研修を開催しました。午前中の座学研修に続いて午後からは鍋山国有林108林班において、職員の技術向上を目的に職員27名が参加して実技研修会を開催しました。

実技研修会では、吉村浩一主任森林整備官と山口聖技官が講師となって屋久島におけるヤクシカ被害対策の取組状況、本年度の捕獲計画等の説明やくくり罠の実技指導を行いました。くくり罠の実技では初めて設置する者を中心に、設置のコツや安全な取扱い方法、電気止め刺し器の使用方法などの指導を受けました。

当署及び保全センターでは、ヤクシカによる屋久島の貴重な森林生態系や農林業への被害を抑えるために、屋久島町、地元猟友会などの関係機関と連携しながら、本年度も職員実行と併せて委託事業や協定に基づくヤクシカ捕獲に取り組む考えです。



（説明する吉村主任と山口技官）



（くくり罠設置の実技）



(電気止め刺し器の実技)